HardingFPA サーバー版 ver.6.1 リリースノート

2023 年 10 月 16 日

Ver.6.1.0

***データベースのスキームが Ver6.1.0 よりアップデートされた為、PosgreSQL アカウントへのパスワードが必須となりました。**

1. IMF CPL をサポートしました。
2. ITU-R BT.1702-2 のガイドラインをベースに空間パターン解析を可能にした新しいガイドライン「OTT HDR」が追加されました。
3. HLG HDR ファイル解析のビット深度が 8bit から 10bit に変更されました。
4. Rec.2020 Dolby Vison HDR 素材をサポートしました。
5. 90 および 120fps のフレームレートをサポートしました。
6. Submit アプリ、XML トークン、Web サービスに Dolby Vision HDR メタデータサイドカーファイル名がサポートされました。
7. Analyser と Monitor に新たな設定が追加されました。HardingFPA のサービスを手動で停止および開始する必要なく構成が可能になりました。
8. インストーラーは既存の HardingFPA Analyser および Monitor のサービスのアカウント設定の保持が可能になりました。
9. 新しいコマンドラインユーティリティ HfpaServerCLI により、Job の送信と Job キューの管理が可能になりました。
10. Dolby Vision ターゲットモニターを XML 結果に追加しました。
11. データベーススキームを 9 に更新し、Dolby Vision HDR メタデータサイドカーファイル名のサポートを追加しました。

CAMBRIDGE RESEARCH SYSTEMS

Ver.6.1.2

＊ バージョン 6.1.0 のデータベース スキームの更新により、PosgreSQL アカウントのパスワードが必要になります。

＊ HfpaAnalyser のみが変更されました。他のすべてのアプリケーションはバージョン 6.1.0 のままです。

12. HfpaAnalyser - PDF 証明書にテスト済みビデオ基準の一部として表示されているフレーム レートを変更しました。これまで表示されていた、23.98, 29.97, 59.94 は表示されなくなり、変更後はそれぞれ 24, 30, 60 と表記されます。注：この変更は解析結果に影響は受けません。
13. PDF 証明書のメタデータ セクションでは、タイムコード開始フレームの区切り文字にセミコロンを使用して、ドロップフレームタイムコードを示します。
14. 日本語翻訳の一部修正。